

1	特産品であるゆずの利活用について、皮を利用はできないか。 町の特産品は、お茶、ゆずが特産品である。しっかり特産品を育てていった方が良いのでは。	産業課	(産業課長) ゆずの皮を剥く簡易な「皮むき機」を宮川物産に導入した。有価物としてゆずの皮は魅力的であるため、試行錯誤しながら商品開発を行っていく。 化粧品などと融合できるように、三重県や宮川物産と話し合っていく。	
2	川添小学校の複式学級について現状どうなっているのか。	教育委員会	(教育長) 令和2年3月に川添小学校、保育園の保護者と話し合いを行い児童の数をみながら今後を考えていくと合意した。 町全体として、予想より子どもの数が減少しているため、統合をしっかりと考えて行かなければいけない。子どもたちの将来のために、より良い学習環境を作っていく。	
3	三重交通のバスがなくなるのか、今後の交通の便はどうなるのか。	生活環境課	(生活環境課長) 町内を走る路線は松阪熊野線と大杉線の2線あるが、今回なくなるのは松阪熊野線のため、路線自体はあるが、実質的な減便となる。	
	三重交通バスの代わりに町営バスをこちらに持ってこれないのか。		(生活環境課長) 三重交通の廃線に至ったのは、人口減少の影響がある。町営バスも利用者が減少し続け非常にコストがかかっている。タクシー券なども枚数を増やしたりはしているが、いきわたらないのが現状であるため、地域の方と一緒に協議しながら進めていきたい。	
	ライドシェアのようなものは導入できないのか。		(生活環境課長) 以前から、お話をいただいているが、町内に4つのタクシー事業者があるので、基本的には、タクシー券を利用してほしい。料金については、事業者とも協議する。	
4	JA女性部の一部の方がえごまの生産・栽培に取り組んでいる。町として、特産品にしていくような考えはあるか。	産業課	(産業課長) えごまについては本町でも特産品として認識している。特産品としてバックアップするために毎年、町長にも参列していただき伊勢神宮に奉納し、町のえごまブランドをPRしている。 えごまクラブの会員を増やすために広報紙などで周知しているが、増えないのが現状。	
5	定年後(60歳以上等)に受けられる福祉サービス等の、オリエンテーションが希望者にだけでもあればいいのでは。	福祉課 健康ほけん課	(副町長) どのような福祉サービスがあるのか情報発信が不十分かもしれないが、役場には地域包括支援センターなどの窓口もあるので、困ったことがあれば、まずは役場へ相談いただければ寄り添い解決していく。	
6	高齢化が進む中、太陽光発電用地に利用するなど、農業振興地域の今後の活用について町の見解を伺いたい。	産業課	(産業課長) 農業振興地域の整備に関する法律の改正で以前より、農用地の除外や転用は難しくなっている。太陽光発電についても、法律が厳格化され農地転用するのは難しくなっていくものと予測される。今後は離農される方が増えていくと思われるため、農事組合法人等の法人経営も視野に入れながら、検討を進めていく。随時情報として紹介していく。	
7	U字溝に落ち葉等の堆積がひどいため、蓋やコルゲートを埋めてほしいと要望したがとうなったか。	建設上下水道課	(建設上下水道課長) 要望があった場所については、緊急性を考慮し対応が出来る箇所は、その年度に対応している。しかし、予算等の都合上、実施できないものについては、予算要望を行い、翌年度以降となっている。今回の要望箇所に関しては、後日回答させていただく。	要望箇所は、町道舟木谷坂瀬線の排水改良で令和4年度に要望書が提出されています。しかし事業費が高む排水改良であり実施には至っていません。 今後も継続的に予算要望をさせていただきますのでご理解をお願いいたします。
8	町指定のごみ袋に取っ手を付けてもらえないか。	生活環境課	(生活環境課長) 現在協議中ではあるが、他自治体との兼ね合いがあるため、すぐの回答はできないが良い返事ができたらと思う。	
9	猫の糞害について、防災無線で放送できないか。	生活環境課	(生活環境課長) 飼い犬のマナーについては随時放送しているが、地域の方からお声があれば、飼い猫の糞害についても放送していく。	